

# 日本社会福祉教育学会ニュース

No.3 2007 (平成19)年3月26日

## 第2回(2006年度)全国大会が開催されました

去る2006(平成18)年11月3日(金)、「社会福祉の教育から学びへ—社会福祉教育研究の対象と方法」をテーマに、同志社大学今出川キャンパスにおいて第2回大会が開催されました。73名の参加を得、自由研究報告も行われ、学会大会らしくなってきました。

### 【プログラム】

#### ①シンポジウム「社会福祉教育研究の対象と方法」

報告者:「専門職養成教育としての社会福祉教育の特色」 宮田和明氏(日本福祉大学)

「大学教育の変化・問題点」 川廷宗之氏(大妻女子大学)

「社会福祉教育に関する用語整理・範囲」 小山 隆氏(同志社大学)

コーディネーター:米本秀仁氏(北星学園大学)

#### ②自由研究報告(報告20分、質疑10分)

(1)「ソーシャルワーク方法論授業における課題化(私見)—リテラシーと内的論理・思路形成—」 加藤春樹

(2)「社会福祉実習における実習評価に関する研究(第一報)」 ○森下陽美・金子充・原久美子・高木博史・保正友子

(3)「社会福祉士養成課程の教育における学習者の活動力と環境の相互作用」○坪井真・井上由美子

(4)「社会福祉教育研究の課題に関する基礎研究(1)—日本社会福祉学会における社会福祉教育関連研究の変遷を中心に—」

○山下匡将・志水幸・坪井真・川廷宗之・大月和彦・村山くみ

(5)「社会福祉教育研究の課題に関する基礎研究(2)—日本社会福祉学会における社会福祉教育関連研究の変遷を中心に—」

○大月和彦・山下匡将・志水幸・坪井真・川廷宗之・村山くみ

#### ③立食セッション

### 【シンポジウム】

シンポジウムでは、『社会福祉教育研究の対象と方法』と題し、米本氏のコーディネートにより、宮田和明氏からは「専門職養成教育としての社会福祉教育の特色」、川廷宗之氏からは「大学教育の変化・問題点」、小山隆氏からは「社会福祉教育に関する用語整理・範囲」に関する発題を受け、フロアからの質疑も交えながら活発な討議がなされました。

宮田氏は、教育、進路、配置、待遇等の様々なデータを扱い、少子化に伴う全入時代の到来とともに社会福祉士養成校の増加により人材供給過剰となっており、従事者の大半は介護職につく状況が現れていること、相談員職種への任用配置が進んでいないこと、等を指摘。入学定員25千人に対し、現役受験者15千人、現役合格者5千人、さらに、医療福祉分野への就職者数13千人、かつ相談援助職4千人というミ

スマッチからしても、国家試験合格後に現場実習を行うという方法も検討されるべきことを提言した。

川廷氏は、「社会福祉関連型の執行官養成から、ソーシャルワーカー養成への転換」を提唱し、従来型の制度についての知識を詰め込む教育から、生活問題を出発点とした問題解決思考を育みソーシャルワーク技術を獲得できる教育への転換の必要性を訴えた。その中で、ソーシャルワーカーたる社会福祉士の役割は、「ライフサポート(生活支援)」であり、「生活」は、例えば「新国民生活指標体系(PLI)」の8領域(住む、費やす、働く、育てる、癒す、遊ぶ、学ぶ、交わる)4評価軸(安全・安心、公正、自由、快適)などの枠組みで捉えられるのではないかと提案。さらに、国際的にも通用し、独立自営ができる社会福祉士養成のためには、教育内容の構造化、援助技術教育の見直し、関連諸科学の精選、教育計画・指導案の開発や教育

方法の充実、などが必要であるとした。

小山氏は、社会福祉の捉え方や社会福祉関連用語の定義が曖昧なまま用いられている中で、社会福祉教育が行われているという前提に立ち、インターネットの検索サイトや辞典・論文を用いて諸用語の検索や定義を抽出紹介した。その中で特に、「社会福祉教育」に関する定義付けを行い、本学会における研究範囲の明確化を行う必要があると提言した。

三シンポジストの報告をもとに、フロアからの質問をまじえて活発な議論が行われた。

#### 〔自由研究報告〕

続いて開催された自由研究報告では、5本の報告が行われた。(1)「ソーシャルワーク方法論授業における課題化(私見)ーリテラシーと内的論理・思路形成ー」(加藤春樹)では、報告者が非常勤勤務校において取り組んだ、課題通読をベースにしたリテラシースキルを高める指導法を報告した。(2)「社会福祉実習における実習評価に関する研究(第一報)」(○森下陽美・金子充・原久美子・高木博史・保正友子)では、実習指導者がつける評価に影響を与える要因を、報告者所属大学指定の評価表の分析結果を報告

した。(3)「社会福祉士養成課程の教育における学習者の活動力と環境の相互作用」(○坪井真・井上由美子)では、活動力と環境の相互作用で成り立つ学習者の経験が改造・再組織化されると、学習者の認知能力は高まり進路方向付けに関する能力が高まるという仮説を、学生へのアンケート調査をもとに明らかにしようとした。(4)および(5)の「社会福祉教育研究の課題に関する基礎研究(1)(2)」(○大月和彦・○山下匡将・志水幸・坪井真・川廷宗之・村山くみ)では、日本社会福祉学会年次大会の抄録集から過去の社会福祉教育に関する研究報告を抽出、分類整理し、本学会の中心的に取り上げる研究課題を専門職養成教育としていく必要があるとした。

#### 〔立食セッション〕

短い学会開催時間を有効に使う目的で、懇親会も「立食セッション」とし、寒梅館1Fレストラン「Hamac de Paradis(アマーク・ド・パラディ)」に場所を移し、シンポジストを囲みながら自由に意見交換・懇談をしました。

## 2006年度総会 概要

自由研究報告に引き続き、総会が開催されました。報告事項として、2005～2006年の事業報告、会計報告、会員の状況が説明されました。また、議案として①諸規定(学会規約、学会誌編集規程、学会誌編集委員会規程、学会誌投稿規程、学会誌執筆要領)案、②2007年度事業計画、③2007年度予算案、④役員体制について諮られ、全て承認されました。総会議題・資料・承認された規定等は学会ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

## 第4回理事会 概要

日時：2006年11月3日(金・祝) 11:00～12:15

会場：同志社大学寒梅館

出席：宮田和明・川廷宗之・牧野忠康・黒木保・小山隆・川上富雄・宮城孝・高橋重行・米本秀仁・杉山克己・太田義弘・明星智美

#### 【議題】

1. 第2回総会議案について

1) 議案書(案)の修正

①「学会誌編集規程」の1……学会誌の名称を『日本社会福祉教育学会誌』に修正する。

②「学会誌『社会福祉教育学会誌』投稿規程」の5……表題を「学会誌『日本社会福祉教育学会

誌』投稿規程」に修正する。「原稿およびフロッピーディスク」を「原稿を収めたフロッピーディスク等とそのハードコピー」に修正する。

- ③「学会誌投稿規程」の9……「フロッピーディスクは」を「フロッピーディスク等は」に修正する。
- ④「学会誌執筆要領」の(6)①……「フロッピーディスク(3.5インチ, 2HD)」を、「フロッピーディスク等」に修正する。

＜確認事項＞

- ①「学会誌『日本社会福祉教育学会誌』投稿規程」の4……投稿締切の毎年3月末日は、当日消印有効とする。
- ②「学会誌『日本社会福祉教育学会誌』投稿規程」の8……原稿掲載者への掲載誌の贈呈は、筆頭執筆者に対して計3部を贈るものとする。

2) 2007年度予算案

理事会や委員会等の運営体制を確立するため、交通費および会議費を計上するよう修正。

2008年度に役員選挙の予定であり、会員名簿作成の事務経費を見込んでおく必要がある。

2. 入会審査

30名の新規入会申し込みがあり、全員が承認された。なお、入会申込書において、学位の記入方法がまちまちであり、正確な記入を求める必要がある。今後の入会希望者には、正確な学位名称の記入を求める。事務局においても名簿作成にあたり、正確な表記を行う。

3. 会誌創刊号の発行について

- ① デジタル方式で400部作成する。
- ② 関係大学等への寄贈はしない。
- ③ 創刊号は送料等込みで1000円とし、会員以外の希望者に販売し、定期購読制度をつくる。

4. 第3回大会に向けて

社会福祉教育セミナーの開催に合わせて開催。

会場を北星学園大学とし、11月2日(金)午後～3日(土)午前を予定。

また、全国社会福祉教育セミナーは、11月3日～4日開催予定です。

## 新入会員

第4回理事会(2006年11月3日)におきまして、新たに30名の入会が承認されました。会員番号・名前・所属のみ掲載します。

氏名	所 属
119 大西 良	久留米大学 文学部社会福祉学科
120 宮嶋 淳	社団法人 日本社会福祉士会
121 橋本 みさえ	西九州大学 健康福祉学部社会福祉学科
122 川島 恵美	関西学院大学 社会学部社会福祉学科
123 秦 康宏	近畿大学豊岡短期大学 通信教育部こども学科(非常勤)
124 豊田 正利	東北文化大学 医療福祉学部保健福祉学科
125 北川 清一	明治学院大学 社会学部
126 塩谷 謙一	東洋大学大学院 (在学)
127 八巻 正治	弘前学院大学 社会福祉学部
128 井上 祐子	同志社大学大学院 社会学研究科社会福祉学専攻
129 嘉村 藍	仙台白百合女子大学

130	蔵野ともみ	大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科
131	坪井 真	城西国際大学 福祉総合学部
132	山下 匡将	北海道医療大学大学院 看護福祉学研究科
133	田島 望	同志社大学 社会学研究科博士後期課程(在学)
134	丸山 仁	新潟青陵大学短期大学部
135	高梨 未紀	日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター
136	志田 民吉	東北福祉大学
137	菱川 愛	東海大学 健康科学部社会福祉学科
138	村山 くみ	東北福祉大学
139	金子 充	立正大学 社会福祉学部
140	南 彩子	天理大学
141	小椋 喜一郎	日本福祉大学
142	青柳 勉	東北福祉大学 大学院事務室
143	武田 加代子	天理大学
144	宮内 寿彦	文京学院大学 人間学部人間福祉学科
145	北爪 克洋	東京福祉大学
146	関口 惠美	東京福祉大学
147	山本 博之	東京福祉大学
148	駒田 雅己	日本福祉大学 社会福祉実習教育研究センター

## 【お知らせ】

- 第4回理事会で30名の入会が承認され、会員数が148名になりました。ホームページから入会申込書もダウンロードできます。推薦人は不要ですので、同僚やお知り合いの先生などにぜひ入会をお勧め下さい。  
(学会ホームページURL: <http://www.n-fukushi.ac.jp/jissyu/jsswe/index.htm>)
- 以前からお知らせしておりましたように、今号より広報紙はEメール・ホームページでお届けします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。なお、まだEメールアドレスをお知らせ頂いていない方は、至急Eメールにて事務局にお知らせ下さい。また、Eメール・インターネットを使用されない会員には今後も郵送にてお届けします。
- 「学会誌」創刊号の発行が遅れています。申し訳ありません。近日中にお届けできるよう、鋭意作業中です。また、第2号以降は会員の皆様からの投稿論文を掲載する予定です。編集・投稿規定等は昨年の総会資料にもありますが、学会ホームページでも確認できます。
- 本文記事中、理事会概要でも触れておりますが、第3回大会は2007年11月2日(金)～11月3日(土)、北星学園大学(札幌市)を予定しております。詳細が決まり次第、ご案内いたします。
- 立ち上がったばかりの学会のため活動資金が十分ではありません。入会金および今年度会費の納入がまだの方は早めの振込にご協力ください。よろしくお願ひします。(入会金1,000円 年会費6,000円)  
(郵便口座 00800-8-149492 日本社会福祉教育学会)  
または (三菱東京UFJ銀行 武豊(外)支店【587】 3689818 日本社会福祉教育学会)

日本社会福祉教育学会事務局

〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田 日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター一気付

TEL 0569-87-2971

FAX 0569-87-2340

E-mail [jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp](mailto:jsswe@ml.n-fukushi.ac.jp)